

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
子宮頸癌 Cemiplimab療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① 生食50mL(プライミング用) ② 生食100mL + <b>リプタヨ</b> 350mg 最終濃度は1~20mg/mLとする 投与時0.2~5 $\mu$ mインラインフィルターを使用 ③ 生食50mL(フラッシュ用)		
コメント			

プロトコールに関する解説

本療法は、プラチナ製剤を含む化学療法後に増悪した進行・再発子宮頸癌において、効果が示されている治療法です。臨床試験により、本療法はこれまでの化学療法(ペムトレキセド、トポテカン、イリノテカン、ゲムシタビン、ビンレルビンのいずれか)に比べ、優れた治療成績が示され、化学療法後に増悪した進行・再発子宮頸癌において新しい標準治療として認識されています。グレード3以上の副作用は45.0%対53.4%で、免疫関連有害事象は15.7%で認めました。